

決議第 1 号

戦後 80 年淡路市議会平和を求める決議

本年は、市制施行 20 年、阪神淡路大震災から 30 年であるとともに、アジア太平洋戦争終結 80 年の節目を迎える。

震災も 30 年という月日の経過から、記憶の風化や、経験をしていない方には現実として捉えにくくなっている現状が懸念されており、ましてや戦争を経験したことがない人が大半となった今、戦争の現実に対する意識が一層稀薄となることが憂慮される。先の大戦では、アジア諸国民 2,000 万人以上、日本国民 310 万人以上、市内では 2,770 人の犠牲があった。淡路市議会は、すべての戦争犠牲者の方々に深い哀悼の意を表します。

人間には、平和のうちに生存する権利がある。その当たり前の権利が、戦争によって無残にも侵害された過去を、私たちは決して忘れてはならない。今も世界では、戦火や暴力、貧困、分断の連鎖が絶えない。だからこそ、平和を希求する市民の願いを、世界へ、未来へと伝え続ける必要がある。

淡路市議会は、これまでの平和都市宣言に関する決議や核兵器禁止条約の実効性を高めるため日本政府に主導的役割を果たすことを求める意見書の提出などを踏まえ、戦後 80 年である本年、改めて戦争という悲劇を二度と繰り返さないため、世界平和の実現に努める議会の意思を示すものである。

以上、決議する。

令和 7 年 8 月 6 日

淡 路 市 議 会